

2008年11月18日  
日興アセットマネジメント株式会社

「日興新世代新興国株式ファンド(愛称:ネクストBRICs)」  
先月からの投資環境について

世界的な信用収縮の深刻化は、実体経済への波及懸念へとつながり、長期化の様相を見せており、金融市場の軟調な展開につながっています。

当ファンドもこうした影響を受け、11月14日の基準価額は、前月末を5.9%下回る4,286円(1万口当たり、信託報酬控除後)となりました。次ページ以降では、当ファンドの組入れ上位国について、ご説明いたします。

【先月からの金融市場の動きについて】

- 新興国においては、経常赤字国などの経常収支悪化懸念の高まりや、商品輸出国での市況下落による影響などが要因となって資金流出が顕著となり、株式市場は先月から大きく下落する展開となりました。また、相対的に金利の高い国においては、リスク回避の動きの活発化などを背景としたキャリートレードの解消などから資金の引き揚げの動きが顕著となり、通貨が大きく下落しました。
- IMF(国際通貨基金)による新興国支援の本格化や、先週末に開催された20カ国・地域(G20)緊急首脳会合(金融サミット)など、金融安定化に向けての国際的な取り組みなどを受け、一時のパニック的な売りは弱まり、今後は次第に落ち着きを取り戻すことが期待されます。しかしながら、今後も過度な資金流出が続くようであれば、実体経済の減速を加速させる恐れもあることから、注視が必要と考えています。

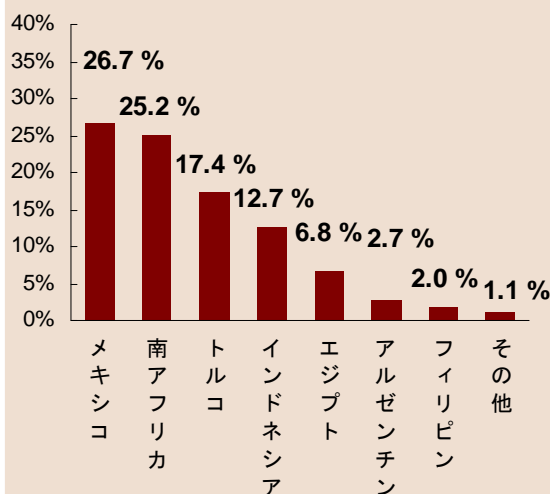
＜基準価額の推移＞

(2007年12月27日(設定日)～2008年11月14日)



※上記の基準価額は、信託報酬(年率1.869%(税抜1.78%))控除後の1万口当たりの値です。

【当ファンドの株式国別比率】  
(2008年10月末時点)



※上記は、マザーファンドの状況であり、比率は対純資産総額比です。

※当ファンドでは、アメリカドル建てのDR(預託証券)などを通じて投資を行なう場合があります。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。 (1/6)

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興新世代新興国株式ファンド(愛称:ネクストBRICs)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

本レポートでは、当ファンドで組入比率の高いメキシコ、南アフリカ、トルコおよびインドネシアについて、最近の状況をご説明いたします。

## 【メキシコ】

輸出企業などが為替ヘッジのために利用した金融派生商品で損失が発生し、そのポジション解消に伴う通貨の押し下げ圧力がメキシコにとって最大の懸念材料となっていました。そうしたポジションは概ね解消された模様です。同国は、今回の通貨危機の中でも最も影響を受けている国の一つですが、先月末以降、同国政府および中央銀行が流動性確保のための対策を発表したほか、米国との間で通貨スワップ協定を設けたことなどにより、現在は落ち着きを見せています。しかしながら、キャリートレードの解消の動きが再び活発化すれば、再度、メキシコ・ペソの変動率が高まる可能性があります。

## 【南アフリカ】

新興国全般に対する懸念が台頭するなか、特に南アフリカの場合には、経常赤字の拡大懸念やリスク回避の動きなどを背景として、キャリートレード解消が顕著となったことなどから、資金が一気に流出する事態となりました。ただし、楽観視はできないものの、同国の場合、債務水準は相対的に低く、外貨準備高も十分とみられ、信用リスクはそれほど高くないと考えています。

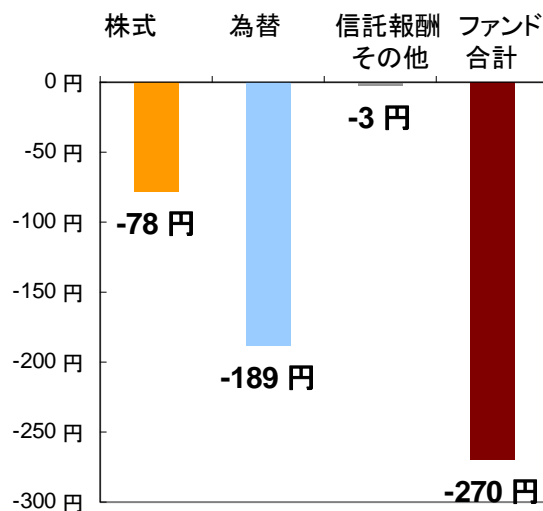
## 【トルコ】

エネルギー輸入国であるトルコの場合、原油価格の下落は経常収支の改善要因と考えられるものの、南アフリカ同様、経常赤字国に対する見境のない売り圧力の高まりに加えて、キャリートレードの解消の動きが高まったことから資金流出が顕著となり、トルコ・リラが大きく売られる展開となりました。

## 【インドネシア】

インドネシアは、急速に外国資本が流出したことなどから、先週にかけて為替が大きく売られる展開となりました。同国経済は、アジア通貨危機当時などと比べて健全な状態を保っている一方、資源輸出国である同国にとって、主な貿易相手国である中国の景気後退や資源価格の下落はリスクにつながることから、引き続き注視していきます。

### <基準価額の要因分解> (2008年10月31日～2008年11月14日)



#### ●株式要因

インドネシア	29
アルゼンチン	21
エジプト	5
フィリピン	-6
メキシコ	-16
南アフリカ	-54
トルコ	-54
その他	-3
株式合計	-78

#### ●為替要因

エジプトポンド	-1
フィリピンペソ	-7
アメリカドル	-19
メキシコペソ	-20
南アフリカランド	-45
トルコリラ	-47
インドネシアルピア	-50
為替合計	-189

※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。 (2/6)

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興新世代新興国株式ファンド(愛称:ネクストBRICs)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

【今後の見通しと運用方針】

短期的には、市場心理の不安定感の高まりから、変動率の高い展開が予想されます。そして、多くのリスクが介在する中、下値を見極めるには時間がかかるものと考えています。先般閉幕した金融サミットをはじめとして、現在、各国政府主導で、世界の金融システムの正常化に向けた協議が進められており、世界経済が最悪の結末を迎える可能性は回避されつつあります。しかしながら、实体经济の減速やリスク回避に伴う資金流出がさらに加速した場合には、大きなリスクとなることが考えられるため、予断を許さない状況が続くと見えています。

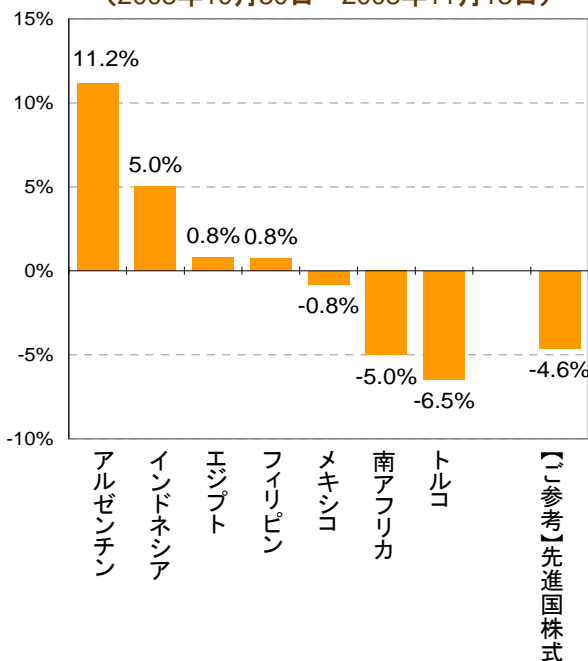
こうした状況において、新興国の株式市場が回復するにはしばらくの時間を要すると見ており、リスク回避的な投資行動とグローバル株式市場の動向に引き続き影響されやすいと考えられるものの、株価は魅力的な水準にあると見えています。

当面予想される市場の振れには注意が必要ですが、世界的な景気後退が既に株価にかなり織り込まれていることや、金融市場対策や経済政策の効果が今後期待できることを考えれば、中長期的には堅調な推移が期待できると考えています。引き続き、「日興新世代新興国株式ファンド(愛称:ネクストBRICs)」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

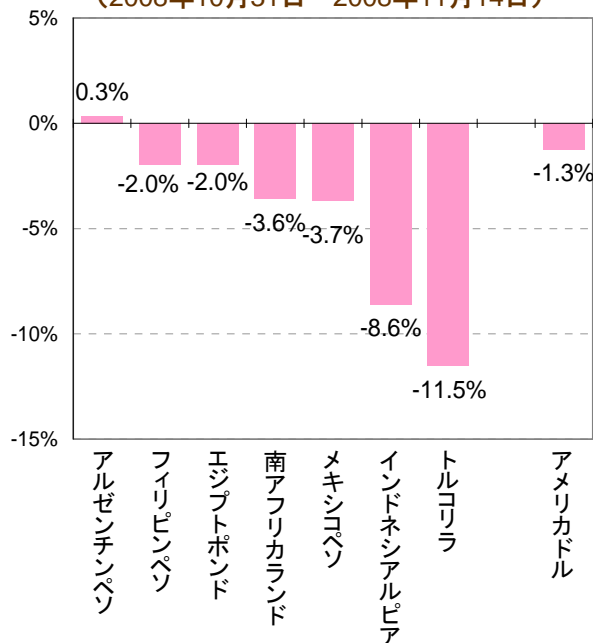
以上

ご参考: 主要投資対象国の株価指数(現地通貨ベース)と為替の騰落率

【株価騰落率(現地通貨ベース)】  
(2008年10月30日~2008年11月13日)



【為替騰落率】  
(2008年10月31日~2008年11月14日)

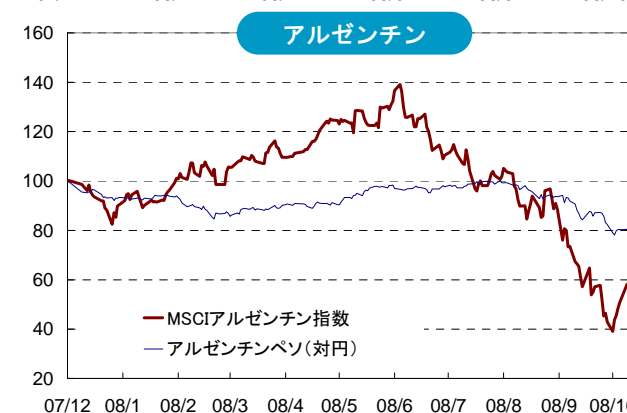
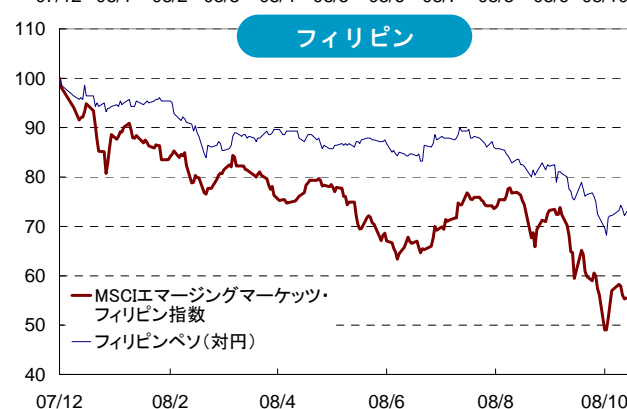
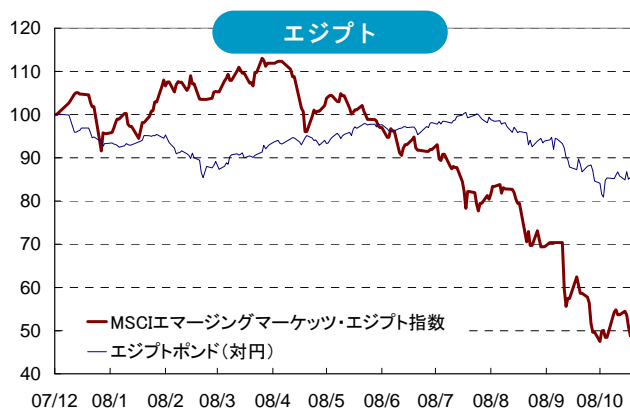
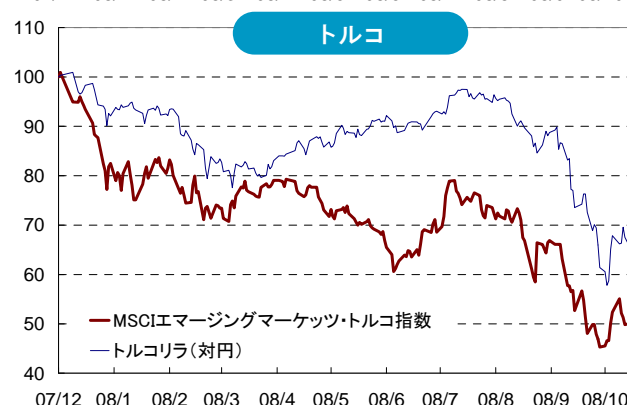
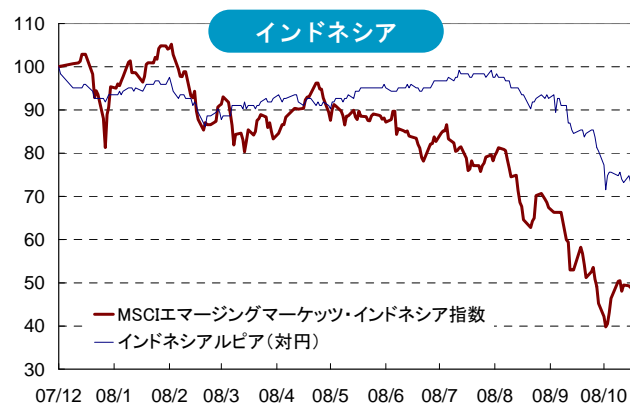
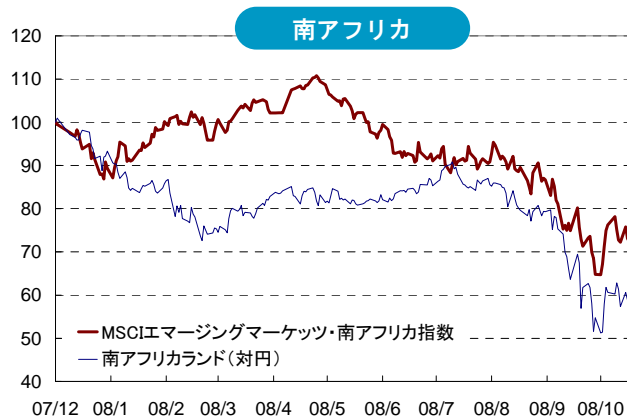
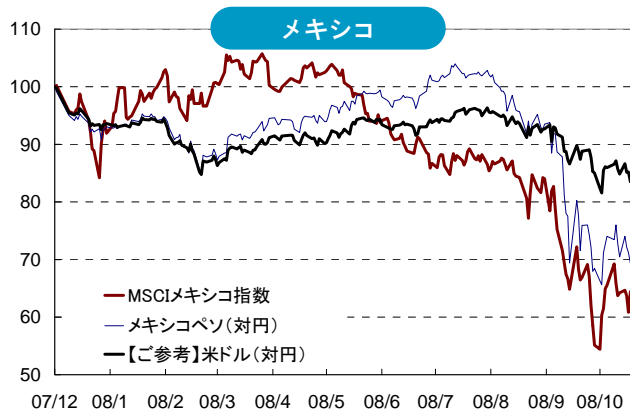


※各国株価はMSCI各国指数(配当込み)、先進国株式はMSCIワールド指数。信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。 (3/6)

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興新世代新興国株式ファンド(愛称:ネクストBRICs)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

ご参考：株価（現地通貨ベース）と為替の推移（2007年12月27日～2008年11月14日）



※株価と為替はそれぞれ、2007年12月27日を100として指数化。  
信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## お申込メモ

- 商品分類 : 追加型株式投資信託／国際株式型(一般型)／自動けいぞく投資適用
- お申込単位 : (新規申込)10万円以上1円単位 (追加申込)1万円以上1円単位
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 : 取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
- 信託期間 : 平成29年12月4日まで(平成19年12月27日設定)
- 決算日 : 毎年12月4日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。
  - ※原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、日興コーディアル証券の定める所定の日よりお支払いいたします。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
  - ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料 : お申込手数料率は、お申込金額に応じて、以下のようになります。
 

1億円未満	3.15%	(税抜3.00%)
1億円以上5億円未満	1.575%	(税抜1.50%)
5億円以上10億円未満	0.7875%	(税抜0.75%)
10億円以上	0.525%	(税抜0.50%)
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額(1口当たり)

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.869%(税抜1.780%)を乗じて得た額
  - その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
- ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
- ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会
- 投資顧問会社 : 日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
- 受託会社 : 日興シティ信託銀行株式会社
- 販売会社 : 日興コーディアル証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第129号  
加入協会:日本証券業協会、(社)日本証券投資顧問業協会、(社)金融先物取引業協会

(5/6)

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興新世代新興国株式ファンド(愛称:ネクストBRICs)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

## お申込みに際しての留意事項

### ■リスク情報

当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に株式など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

#### 【価格変動リスク】

一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

#### 【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。一般に新興国の株式は、先進国の株式と比較して、市場規模や取引量が少ないため、相対的に流動性リスクが高いと考えられます。

#### 【信用リスク】

一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

#### 【為替変動リスク】

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

#### 【カントリー・リスク】

- ・投資対象国である新興国における非常事態など(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。
- ・ファンドの投資対象株式が上場または取引されている諸国の税制が先進国と異なる面があります。また、それらの諸国における税制が一方的に変更されたり、新たな税制が適用されたりすることもあります。以上のような要因は、ファンドの信託財産の価値に影響を与える可能性があります。

### ■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「日興新世代新興国株式ファンド(愛称:ネクストBRICs)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、日興コーディアル証券より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

(6/6)

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興新世代新興国株式ファンド(愛称:ネクストBRICs)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。